

## 第2回3月11日知事メッセージ起草委員会 主な意見

日 時 平成28年2月1日(月) 13:30～14:30

場 所 応接室（本庁舎2階）

出席者 委員長：知事

委員：加藤卓哉、菊池信太郎、佐々木孝司、本多環、横田純子、  
芳見弘一（50音順） ※蜂須賀委員は書面での意見提出。

事務局 企画調整課 安齋課長、加藤主幹、中村主任主査、佐久間副主査

### 1 全体的な流れ

- ・最後は、知事の言葉で締めていただきたい。
- ・県外の方々が、福島のことを勝手に想像して決めつけている部分がまだ多いので、福島の現状をうまく載せられればよい。

### 2 「東日本大震災の体験談と復興への想い」からの引用

- ・(原案では引用されていない体験談について)「そのありがたさを感じた」というところが良い話だと思った。当時の辛さと人の温かさをもう一度振り返るには良い。
- ・引用箇所の記載は、「中学〇年生」など、可能な範囲で具体的に入れた方がよりリアルに伝わる。

### 3 2013年から2015年までの振り返り

- ・「避難指示解除」という言葉は、帰還を求められているようなイメージ。例示を1つだけにするか、違う言葉にしてはどうか。
- ・他県や世界の方々は、「DC」という言葉を知らない人もいるのでは。「大型観光キャンペーン」などが良いのでは。

### 4 ふくしまの現状

- ・この5年間頑張ってきたことに誇りを持ちながらということを入れたい。
- ・「風評と風化」は誰が戦っていくのかを明確にするため、「私たちは」と主語を入れる。
- ・「復旧・復興の状況に差が生じています」というところを、福島の現状はそんな良いことばかりじゃないという気持ちを汲んで、もう少しわかりやすく書いた方がよい。

## 5 知事が描く「ふくしまの未来」

- ・「校庭を元気に走り回る」は今でも実現していることなので、別の表現が良い。
- ・「笑顔輝く」は、「強い意志を持ちながら」「誇りを持ちながら」等を加えつつ、「笑顔を輝かせる」がいい。
- ・「ロボット」は「最先端ロボットの開発」などの方が良い。
- ・「福島に来て欲しい」「この変わった5年後を見に来てください」と言いたい。

## 6 知事の決意

- ・「ふくしまプライド」は素晴らしい。「誇り」「プライド」を噛み砕いて伝えていただきたい。
- ・4万人が県外に避難している現状を踏まえ、「ふくしまの未来」は「ふるさとふくしまの未来」の方がよい。
- ・チャレンジについて、「県民とともに」という言葉を入れると、一緒にチャレンジしようかなという気持ちになる。
- ・センテンスが長いところがあるので、もう少し歯切れよく、伝わるようなものに。
- ・最後の呼びかけは、「県民の皆様」ではなく、一步近づき、「県民のみなさん」のままがいい。
- ・「よみがえる」というと、単なる復興だけの感じがするので、もっと前に6年目で行くという決意の方がよい。